

4.事例から学ぶ(機械メーカー)

事例①

積極的な営業活動により ビジネスチャンスをつかむ

株式会社ニュートラル

関東から事業を開始

(株)ニュートラルは製パン会社で工場の技術部門に長年従事した同社社長が、経験を活かして平成6年に創業しました。

創業当初は「ビジネスの中心は関東」という認識のもと、食品工場を中心に飛び込み営業を繰り返し、工場ラインの清掃や修理などを手がけました。地道にこうした仕事を手がけて顧客の信頼を獲得し、徐々に顧客が求める機械装置の改良・製作なども少しずつ手がけるようになりました。

しかしながら、業務の幅を拡大すると一気にライバル会社が増えてしまい、新参者をなかなか受け入れない関東の風土もあり、その後ビジネスの拠点を出身地である北海道へ切り替えることにしました。

どんな仕事でもこなし徐々に大きな仕事につなげる

北海道ではまず仕事のきっかけを作るために、飛び込みで大手食品メーカーの門をたたき、自社のアピールと工場現場での悩みや課題の聞き取りを行いました。その結果、数社から工場の完成品搬送のコンベアの更新工事に加え、機械部品の製作の仕事などの受注につながりました。

これらの企業との最初の仕事は小さなものではありましたが、自社の協力会社との連携等を通じて仕事を確実にこなし信頼を勝ち取った結果、オリジナル機械の製作を含めて次々と仕事が入ってくるようになりました。

また、北海道へ進出する際、北海道内の食品メーカーが、パンを焼く鉄板や食型等を自ら洗浄していることを知り、汚れた鉄板や食型等を再生(洗浄)する表面処理事業を手がけることにしました。各社への営業において表面処理事業への反応は良好で、同社では表面処理事業をしつつ、工場における課題やニーズ等をヒアリングし、機械開発の提案を行うなど表面処理事業は営業の入口として効果的でした。

同社は、北海道内の食品機械メーカーでは取得することがない、「機械器具設置工事業」の資格を有しており、食品メーカーと幅広い仕事が可能となっています。この資格を取得できたのは、こうした大手顧客と長い付き合いができた結果であると認識しています。

同社はファブレスメーカーであり、自社工場はあるものの設計・開発・組立が中心となっています。機械や部

企業概要

【所在地】 札幌市西区発寒10条14丁目1067番地11

【資本金】 2,000万円

【従業員数】 10名(平成26年12月現在)

【業種】 食品機械の設計・開発・販売

【主要製品】 各種省力化機械設備の設計・販売、各種FA機械の設計・販売・メンテナンス

品製造そのものは道内の協力会社に依頼しており、同社長は業界に幅広いネットワークを有しているのが大きな強みとなっています。

食品メーカーのオリジナル機械だけではなく規格化された機械の開発も実施

同社は現在では、製パン・菓子業界を中心とした食品分野において、省力化機械装置、設備等を手がけています。開発している機械は、道内機械メーカーが多く参入している、「原料処理」や「加工・製造」の部分だけではなく、「包装・充填」のラインにかかる搬送機械など、機械と機械をつなぐ部分の開発も積極的です。

食品工場の現場では、省力化への対応が喫緊の課題となっている企業も多く、工場の現場まで足を運んで、機械の提案を行っています。

ただし、こうした機械はしばしば特注品のオリジナル機械となるため事業効率があがらないことから、同社では、事業効率を向上させるため規格化された機械の開発も進めています。現在、製パン業界では丸刃でパンをスライスする機械へのニーズが高いことから、同社では丸刃スライサーの開発に注力し、リース販売の手法も検討しながら製パン会社や調理パン会社などへの販売を計画しています。

丸刃スライサーに関しては特許を既に取得しています。

過去の失敗を活かし知財活動を展開

同社では過去、大手流通業者の加工工場に向け機械を開発し導入したところ、他社が保有する特許に抵触し、警告状が送られたことがあります。同社ではこれを契機に、現在では弁理士の協力を得て、機械開発時の先行技術調査や特許出願などを効果的に行っています。

同社は丸刃スライサーをはじめ特許をいくつか保有しています。丸刃スライサー以外の特許は、特注機械の製造に関係するもので、取得しても経営に十分活かすことができませんでしたが、丸刃スライサーに関しては、規格化された機械ということもあり、自社製品・技術を守るために大きく貢献するものと考えています。

同社ではこのように過去の失敗を活かし、効果的な知財活動を展開しています。

道内食品メーカーアンケート調査結果より

アンケートに回答のあった道内食品メーカーのうち、最近5年以内に新規に取り引きした機械メーカー（道内メーカーと道外メーカー）が「ある」と回答した企業は65%に達しており、食品メーカーと新規取引の可能性は十分あります。

道内の機械メーカーが食品メーカーに積極的に営業を行うケースはあまりないと言われていますが、(株)ニュートラルでは、仕事のきっかけを作るため創業当初から積極的な営業活動を行い、小さな仕事から大きな仕事の受注につなげています。道内機械メーカーには食品メーカーに向け積極的な営業活動が期待されます。

【最近5年以内に新規に取り引きした機械メーカーの有無】

